

鈴木大拙・西田幾多郎記念

金沢大学国際賞

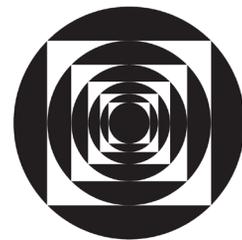
趣意書

鈴木大拙（1870～1966）と西田幾多郎（1870～1945）は近代日本を代表する哲学者・思想家です。鈴木大拙は禅を中心とした東洋思想を世界に広めることに大きく貢献するとともに、「靈性の自覚」を仏教の核心ととらえ、それを探求し続けました。西田幾多郎は西田哲学とよばれる独創的な哲学体系を確立し、京都学派に代表される多くの研究者を育てました。西田幾多郎は1940年に、鈴木大拙は1949年に、それぞれ文化勲章を受章しています。

鈴木大拙と西田幾多郎は、いずれも石川県に生まれ育ち、第四高等学校の前身である第四高等中学校に学びました。金沢という学都がもつ希有なる思想文化の風土が二人をはぐくんだとも言えるでしょう。西田幾多郎は1899年に第四高等学校の教授に任じられ、およそ10年にわたって教鞭を執りました。金沢大学の前身校の一つが第四高等学校で、四高同窓会は金沢大学学友会に統合され、今日に至っています。

本国際賞は、金沢大学にゆかりをもつ鈴木大拙と西田幾多郎に因み、臼井溢氏（昭和39年金沢大学医学部卒業）のご篤志を原資として設けられました。本国際賞の目的は、哲学・思想・宗教を中心とする分野で、国際的に卓越した業績を挙げた研究者を顕彰し、これにより、当該分野の研究の一層の進展を促すとともに、次代を担う若手研究者に対して大きな学問的刺激を与えることです。

関係機関・団体ならびに各位には、本国際賞の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。



Philosophy
Thought
Religion

鈴木大拙－西田幾多郎記念
第5回 金沢大学国際賞
募集要項

1. 対象分野 哲学・思想・宗教の各分野
2. 賞の内容 本賞：賞状及び楯 / 副賞：500万円
3. 受賞者数 1名
4. 応募資格 哲学・思想・宗教の分野において、国際的に多大な業績を挙げた研究者
5. 応募期間 2023年11月15日（水）～2024年4月30日（火）
6. 受賞者決定及び授賞式日時
 - (1) 受賞者決定：2024年9月上旬
 - (2) 授賞式：2024年11月19日（火）※受賞者は、授賞式に出席及び記念講演会で講演すること。
7. 応募要領【他薦のみ】
 - (1) 提出資料：推薦書〔理由書含む〕（別紙様式）、履歴書、業績書
 - (2) 提出先：金沢大学国際賞事務局（郵送又はメール）
8. 選考方法
 - (1) 金沢大学国際賞実行委員会（以下「実行委員会」という。）に金沢大学国際賞審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設置し、当該審査委員会において審査を行う。
 - (2) 実行委員会は、審査委員会の審査結果を参考に、受賞者を決定する。
9. 実行委員会委員

和田	隆志	金沢大学長
白井	溢	医療法人社団明徳会理事長
塩川	達大	金沢大学理事・副学長、事務局長
竹村	牧男	前東洋大学学長
山本	博	公立小松大学学長
木村	宣彰	鈴木大拙館館長
浅見	洋	石川県西田幾多郎記念哲学館館長
三浦	要	金沢大学人間社会研究域人文学系教授
森	雅秀	金沢大学人間社会研究域人文学系教授

10. 提出先・問合せ先

金沢大学国際賞事務局
住 所：〒920-1192 石川県金沢市角間町
E-mail：award@adm.kanazawa-u.ac.jp
電 話：076-264-5111 FAX：076-234-4010